

# 令和4年度事業計画

## はじめに

2年以上の長きに亘り、私たちの日常生活に多大な影響を与えている今般の「コロナ禍」により、本会もまた大変に厳しい状況に陥っています。

ここ数年、本会では会員の減少化傾向を受け、会員増強に向けた諸活動に組織を挙げて取り組んで来ました。また、築後90年超が経過した学士会館の整備問題に関し、本会の将来像も見据えながら保有資産の最有効活用を図るという視点と共に、高い建築史的評価を有する文化財としての学士会館をいかに保存し、いかに後世に残していくかという視点も大切にしながら、その実現に向けて準備を進めてきました。しかしながら今般の「コロナ禍」により、本会を取り巻く経営環境・事業環境は大きく変化し、これら諸課題を着実に進めていく上での障害となっています。

本会の事業活動を経済的な意味で支えてきた会館運営事業は、「コロナ禍」前の4割以下の水準にまで落ち込み（令和2年度は23%、令和3年度予測は35%）、これにより、会館運営を委託している100%子会社の経営を危うくすると共に、本会も会館運営収入の激減により、令和3年度の事業活動収支は、前年度に引き続き、大幅な赤字となる見込みです。

残念ながら、令和4年度においても大きな改善は見込めないのが実状です（令和4年度予算案を参照）。

実施事業に関しても、令和3年度は度重なる緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置の適用により、本会の代表事業である午餐会・夕食会をはじめとして、会員各層に向けた各種イベントや企画の多くが中止・延期又は人数制限を余儀なくされ、会員各位の期待に充分には応えることが出来ませんでした。会員数の減少に歯止めをかけることも叶いませんでした。

令和4年度においても、この新型コロナウイルス感染症終息への道筋は不透明であり、会館運営事業をはじめとする本会諸事業の見通しについては、まだまだ厳しさが続くものと予測せざるを得ません。一方で、この「コロナ禍」の下、その制約を克服するための色々な工夫、様々なツールを駆使した新しい取り組みが行われています。オンラインでの講演会や交流会は既に日常的な光景になっています。本会でも会員同士の“Web交流会”が誕生しています。

本会はこの厳しい状況への対応とともに、学士会館の整備問題とも関連させて“学士会のこれから”を検討するための委員会（「学士会 今後のあり方検討委員会」）を理事会の下に設け、様々な検討を行って来ました。

令和4年度は、上記委員会からの各種提言を基に、デジタル化の促進、オンラインツールの積極的活用による新たな事業展開・サービス提供を模索しながら、会員サービスの一層の充実に努めると共に、安定的な組織維持に向けて積極的に取り組んで参ります。

## 1. 令和4年度重点課題

本年度は上記の状況を踏まえながら、以下の重点課題に対し取り組んで参ります。

### (1) 本会の魅力作りに向けた活動への取り組み・継続実施

- ・既存事業の一層の質的充実とデジタル化による会員サービスの充実
- ・「学士会 今後のあり方検討委員会」からの提言に基づく各種施策の検討・実施
- ・「学生会員（正会員予備層）」に向けた魅力ある施策の展開

## (2) 学会館の再開発問題に向けた本格的活動の展開・推進

- ・推進体制の整備及び共同事業に向けた関係者との具体的協議の推進
- ・財務的観点からの再開発事業の実現可能性の検証と資金手当ての目処付け
- ・新会館機能のあり方についての方向付け（規模、用途、機能、収益性等）

## (3) 事業活動収支—特に会館運営事業の収益改善、赤字幅の縮小

- ・（運営子会社を通じ）コロナ禍の状況を見極めながらの柔軟な事業運営の実施  
—事業規模・提供サービスの見極め、要員の柔軟配置・活用—
- ・設備改修等に対する必要性の吟味と投資的工事の抑制
- ・その他、既存実施事業の必要性・採算性の検証による無駄の排除

## 2. 事業計画

本年度は上記の重点課題を推進すると共に、以下の諸事業・諸活動に取り組んで参ります。

### (1) 会員向け事業及び会員サービスの展開

- 『學士會會報』『NU7』の発行及び内容の充実
- 午餐会・夕食会・関西茶話会・その他イベント（見学会等）の実施
- 「講演会」（午餐会・夕食会等）の録画配信の継続、ライブ配信の試行・実施
- メールマガジン等のデジタルツールを使用した有益情報の適宜配信・宣伝強化
- 『Web名簿閲覧システム』（デジタル版「会員氏名録」）の周知と機能拡充
- 同好会活動の支援、Web交流会等の会員による親睦・交流を目的とした自主的活動の支援
- 提携企業等による会員向け各種サービスの斡旋・提供、新規サービスの開拓

### (2) 七大学及び七大学関連団体との連携及び活動支援

- 「七大学同窓会担当事務局連絡会議」の開催、七大学間の情報交換・交流支援
- 七大学及び同窓団体との共催等による講演会・交流会の実施
- 「全国七大学総合体育大会」協賛、七大学学生・OB団体活動に対する支援や協力
- 七大学支部連絡室（学会館内）の提供

### (3) 会員増強に向けた活動の展開

- 卒業時・修了時における組織的入会勧誘の実施（コロナの収束状況に応じて実施）
- 「入会紹介キャンペーン」の継続実施
- 七大学の協力による入学時の学生会員登録活動の実施
- 学生会員向けサービスの提供・充実化（会報の無料提供、「就職支援用OB・OG名簿」の充実、「就職支援オンラインセミナー」の開催等）

### (4) 学会館の再整備計画の推進及び適切な維持保全

- 再開発に向けた体制整備と具体的計画案の策定、関係者協議の推進
- 再開発を見据えた上での適切な施設機能の維持・保全
- 防災・防火体制の整備と実践的防災訓練の継続実施